

講義情報

講義情報番号	
--------	--

講義表題情報

* 開講学年1	1
* 入学年度1	2021～
* 対象学科1	健康スポーツ科学科
* 科目名1	リーダーシップ論

担当教員情報

* 担当教員	庄司 直人
--------	-------

講義詳細情報

* 講義目的・講義内容	適応・変革志向のリーダーシップ理論を中心に学ぶ。変化に富む現代において、組織を素早く適応・変革することのできる人材、または社会に変化を生み出すことのできる人材になるために必要なリーダーシップ理論を学習する。
* 到達目標	リーダーシップを発揮する各場面・局面で、何が求められるか理論を参考にしながら判断し実行することができる。講義を通して検討した事例から教訓を引き出し、自身が直面する課題解決に応用することができる。
* 授業計画	<p>アクティブラーニング</p> <p>1. リーダーシップとは何か？ 事前学修: リーダーシップとマネジメントの違いについて検討する 2時間 事後学修: リーダーシップは誰がいつ発揮するのか、マネジメントとの違いを検討する 2時間</p> <p>2. 適応課題と技術的問題を診断する 事前学修: 適応課題とは何か検討する 2時間 事後学修: 現実に直面する課題が適応課題であるか技術的問題であるか診断する 2時間</p> <p>3. 適応のプロセスで起こる諸問題に対処する 事前学修: 適応を果たすプロセスで起こり得る問題を検討する 2時間 事後学修: 適応を果たすプロセスで何にどう対処するか整理する 2時間</p> <p>4. リーダーシップと責任を共有する 事前学修: リーダーシップは誰のものか検討する 2時間 事後学修: どのような状態になればリーダーシップと責任が共有されるか整理する 2時間</p> <p>5. 組織変革を進めるステップを踏む 事前学修: 組織変革モデルを把握する 2時間 事後学修: 組織変革のステップを整理する 2時間</p> <p>6. ケーススタディで組織変革を追体験する 事前学修: 変革モデルを参照しながらケースを読み込む 2時間 事後学修: 変革モデルを参照し実際の経験を説明する 2時間</p> <p>7. 組織の共通目的を再設定する 事前学修: 組織の共通目的がどのような役割を果たすか検討する 2時間 事後学修: フレームワークを使い共通目的再設定のシミュレーションをする 2時間</p> <p>8. 他者との相互作用を活性化する 事前学修: リーダーシップを発揮する上でかかわるステークホルダーを考える 2時間 事後学修: 相互作用を活性化する方法を整理する 2時間</p> <p>9. 組織学習を進める 事前学修: 組織学習理論の全体像を把握する 2時間 事後学修: 組織学習のフレームワークを整理する 2時間</p>

	<p>10. コミュニケーションで知識創造する 事前学修:SECIモデルの全体像を把握する 2時間 事後学修:知識創造のプロセスをSECIモデルを用いて説明する 2時間</p> <p>11. パワーを行使し他者を動かす 事前学修:相互依存関係と資源依存を検討する 2時間 事後学修:パワーを意識して他者に働きかける 2時間</p> <p>12. モチベーションを理解し人を動かす 事前学修:モチベーション理論の資料を読む 2時間 事後学修:自分自身の行動や取り組みについてモチベーション理論を用いて説明する 2時間</p> <p>13. 関係を構築する 事前学修:フォーマル組織とインフォーマル組織に関する資料を読む 2時間 事後学修:関係がリーダーシップにどのような影響を及ぼすか整理する 2時間</p> <p>14. リーダーシップ理論を体系化する 事前学修:これまでに学習したリーダーシップ理論を整理する 2時間 事後学修:リーダーシップ理論の関連を整理する 2時間</p> <p>15. 自論(持論)を作り上げる 事前学修:自論(持論)をまとめ 2時間 事後学修:自論(持論)を練り上げる 2時間</p>
* 履修の条件・注意事項	<p>次回講義に関する課題を事前に検討すること(30分～60分) 質問は講義中、講義後など随時受け付ける。</p>
* 成績評価基準・方法	<p>定期試験(50%)、課題(30%)、取り組み状況(20%)により総合的に評価する。なお、遠隔になった場合は、定期試験(50%)、課題(50%)により評価する。</p>
* テキスト	<p>その都度教材を作成し配付する。</p>
参考書	<p>ロナルド・A・ハイフェッツ、マーティ・リンスキー [新訳]最前線のリーダーシップ 何が生死を分けるのか、英治出版 ISBN:978-4-86276-256-6</p>